

蒲生干潟周辺の塩分濃度④④

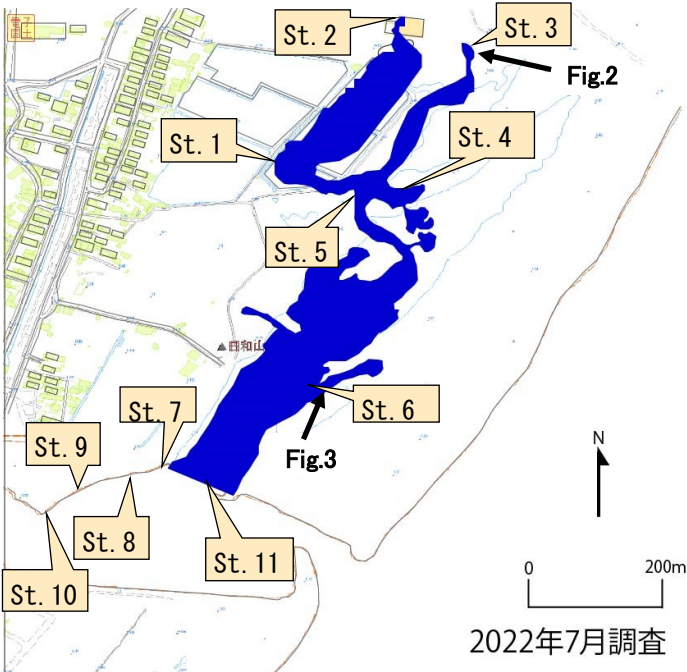


Fig.1 2022/6/9 採水点

Table.1 2022. 7月 塩分濃度(%)

採水点	2022 7/20 今回	2022 6/9 前回	増減	2021 7/30 昨年	増減
St. 1	0.7	1.1	-0.4	1.8	-1.0
St. 2	0.8	0.3	0.5	1.5	-0.7
St. 3	0.6	0.7	-0.1	2.0	-1.4
St. 4	1.0	1.2	-0.2	2.2	-1.2
St. 5	0.9	1.3	-0.4	2.1	-1.2
St. 6	1.0	1.7	-0.7	2.0	-1.0
St. 7	0.9	0.6	0.3	1.2	-0.3
St. 8	0.9	0.3	0.6	1.0	-0.1
St. 9	0.9	0.3	0.6	1.0	-0.1
St. 10	0.5	0.1	0.4	1.0	-0.5
St. 11	0.9	0.4	0.5	1.3	-0.4

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 St.3付近の様子



Fig.3 St.6付近の様子

調査日時：2022年7月20日（水）10:00～11:30，天気：晴れ，満潮時刻 7:47（潮位125cm）干潮時刻 13:52（潮位68cm）
 干潮前の時間帯での調査。Fig. 1に示す採水点St. 1～St. 11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2022. 7月塩分濃度（%）としてTable. 1に記載し，前回までの調査（2022. 6月，2021. 7月）結果と比較した。

数日前の記録的豪雨による影響からか，干潟内の水量がこれまでで最も多かった。前回同様に，St. 3においても多量の水を確認できた（Fig2）。またSt. 6では，干潮前の時間帯であったことも重なり，河口域へ流れる水が流入し，大きな流れができていた（Fig3）。塩分濃度においては，干潟内のほとんどの地点で先月よりも低い値を示した。特に流れが強いSt. 5. 6では値が低くなった。先月も大雨後の調査であったが，その時を上回る干潟内の水量により，全体的に濃度が下がったと考えられる。

（沼尾和弥）